

外郭団体の評価に係る基本調書

<団体の概要>

団体名	公益財団法人相模原市スポーツ協会						
所在地	相模原市中央区富士見6丁目6番23号 けやき会館4階						
設立根拠	民法第34条（整備法第44条）						
設立年月日	平成元年10月26日（昭和29年11月相模原市体育連絡協議会（任意団体）発足、平成24年4月1日公益財団法人に移行、令和2年4月1日体育協会からスポーツ協会に名称変更）						
設立者	相模原市体育協会及び相模原市						
市所管課	市民局 スポーツ推進課						
基本財産	市の出資額	49,000	千円	主 市 以 外 の 出 資 者	名 称	出資額（千円）	出資率
					個人団体からの寄付	26,000	23.2%
	112,020	千円	出資率	43.7	%		
設立目的	市民の体育・スポーツを振興し、もって市民の心身の健全な発達、明るく豊かな市民生活の形成及び活力ある社会の実現に寄与することを目的とする。						
事業内容	1 スポーツの普及啓発及び競技力の向上並びに健康・体力づくりの推進 2 スポーツ団体、選手及び指導者等の育成指導、支援、表彰 3 スポーツを通じた交流の促進 4 スポーツに関する情報の収集及び提供 5 スポーツ活動の機会・場の提供 6 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業						

<人員配置>

役員	人数	常勤理事	1	非常勤理事	14	常勤監事	0	非常勤監事	2	
	内市退職職員数	常勤理事	1	非常勤理事	0	常勤監事	0	非常勤監事	0	
	任期	理事、監事ともに2年								
	常勤役員平均報酬	4,790千円（年額）								
評議員	人数	評議員	35							
	内市退職職員数	評議員	0							
	任期	4年								
職員	人数	令和6年度	正規職員	7	他法人等からの派遣職員	0	嘱託職員	9	合計	16
		令和5年度	正規職員	8	他法人等からの派遣職員	0	嘱託職員	8	合計	16
		令和4年度	正規職員	8	他法人等からの派遣職員	0	嘱託職員	8	合計	16
	給与体系	団体独自		目標管理による成果主義、能力主義に基づく給与体系						
	正規職員平均給料	4,428千円（年額）				正規職員平均手当	2,755千円（年額）			
	正規職員平均年齢	42.3歳								
	正規職員年齢構成	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～65歳	66歳以上		
		0人	1人	2人	2人	2人	0人	0人		
正規職員役職構成	係員級	係長級	課長補佐級	課長級	参事級	部長級				
	2人	4人	1人	0人	0人	0人				
採用方法	公募により採用									

<組織及び分掌事務>



○各組織の分掌事務について

(理事)

- 1 理事は、理事会を構成し、法令及び定款で定めるところにより、職務を執行する。
- 2 会長は、法令及び定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
- 3 副会長は、会長を補佐する。
- 4 常務理事は、会長、副会長を補佐して、日常業務を執行する。

(監事)

- 1 理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告書を作成する。
- 2 理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をする。

(評議員)

法令に規定する事項及び定款で定められた事項を決議する。

(専門委員会)

事業を推進するにあたり、理事会の決議により設置。各分野の調査研究。

(加盟団体)

- 1 各種大会、競技会の実施運営に関すること。
- 2 競技の普及・啓蒙に関すること。
- 3 指導者及び審判員の養成に関すること。
- 4 その他、目的達成に必要な事業

(スポーツ少年団本部)

- 1 スポーツ少年団の育成、指導
- 2 スポーツ少年団指導者及びリーダーの養成
- 3 スポーツ少年団の大会及び体力テスト等の実施
- 4 スポーツ少年団と関係団体との連絡調整
- 5 スポーツ少年団と上部団体との連絡調整
- 6 その他、目的達成に必要な事業

(事務局)

法人の事務を処理する。

<人材育成>

研修	実施回数	令和6年度	30	令和5年度	39	令和4年度	27
	受講人数	令和6年度	44	令和5年度	80	令和4年度	65
	主な研修の名称	地域スポーツコミッション、情報セキュリティ研修					
職員評価	評価制度の有無	有					
	評価の主な視点	個人の業務に応じて設定した目標に対する業績評価					
その他	その他実施していること	研修の充実、評価のほか、職場風土、意識改革を行い、社会状況の変化に対応できる人材を育成					

<情報発信>

情報紙	発行の有無	有					
	名称	スポーツさがみはら					
	発行部数	令和6年度	263,000	令和5年度	291,100	令和4年度	298,400
	主な掲載内容	スポーツイベント情報、ワンポイントアドバイス、スポーツ少年団紹介					
	ターゲット層	市民全般					
ホームページ	開設の有無	有					
	主な掲載内容	スポーツイベント情報、スポーツ少年団、スポーツ団体					
	ターゲット層	市民全般					
	URL	https://sagamihara-sport.or.jp/					
SNS	開設の有無	有					
	開設しているSNS	Facebook、X、LINE、YouTube					
	主な掲載内容	イベント情報、施設状況					
	ターゲット層	市民全般、施設利用者					
その他	その他実施していること	年間イベントポスターを作成し、市内公共施設に掲示。					

<保有施設の状況>

施設の保有の有無	無
----------	---

<経営計画>

計画の策定	有
計画の名称	第5期経営計画
計画期間	令和5年度から令和10年度まで
団体の役割・使命	財団の設立目的である「市民の体育・スポーツを振興し、もって市民の心身の健全な発達、明るく豊かな市民生活の形成及び活力ある社会の実現」を基本理念とし、公益法人として、社会的な役割を十分認識しつつ、スポーツが有する価値やスポーツが社会活性化等に寄与する価値をさらに高めていけるよう努めることを使命とする。
団体の将来あるべき姿	行政や関係団体との連携・協働を踏まえながら、豊かなスポーツライフとスポーツを生かした地域のにぎわいの創出を目指す。
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する市民ニーズやライフステージに応じて誰もがスポーツ（する・みる・ささえる）に親しみ健康で豊かに生きることのできる事業の推進 ・安定した経営基盤の構築 ・社会的信用と公平性、透明性のある組織体制の強化

<主な実施事業>

事業名称		活力ある社会の実現に向けた事業		
区分		公益	自主	
確定事業費(千円)		2,408		
事業説明	内容	活力ある社会の実現に向け、多様な主体との連携した事業を展開した。(大塚製薬株式会社との包括連携協定、さがみはら元旦マラソン、市内企業による子どものスポーツ支援、わくわくスポーツフェア、スポーツ協会ゴルフ大会、動画発信、SDGs啓発事業、市スポーツ少年団交流事業等)		
	成果	<p>大塚製薬株式会社との間で当財団初となる包括連携協定を締結し、「熱中症対策アンバサダー講座」や「免疫力アップの講習会」を開催した。また、連携事業として、グリーンカレッジつくい運営委員会との「カヌー教室」、麻溝包括支援センターとの「介護予防教室」を開催し、スポーツの推進及び健康増進を図ることが出来た。</p> <p>アリオ橋本との共催で開催した「わくわくスポーツフェア」は、サブテーマを”スポーツ×パラスポーツ×SDGs”として掲げ多くの方に参加いただけた。</p> <p>「こどもの未来応援スポンサー制度」では、市内企業とクラブチームのマッチングを行い3組のクラブと企業のマッチングを成立させた。</p> <p>「さがみはら元旦マラソン」では、(公財)相模原市まち・みどり公社と連携し、大風センターや大風保存会とのコラボ企画を実施し、地域のにぎわいづくりに貢献した。</p> <p>スポーツ少年団では「スポーツ交流事業」で、厚木市スポーツ少年団と体育館で綱引きや玉入れなどのレクリエーションを通して交流を行った。</p>		
	課題	多様な主体との連携を拡大し、様々な事業を通じてスポーツの魅力を広く発信出来ているが、継続して活動する機会や場を提供していく必要がある。		

事業名称		指定管理施設の管理運営		
区分		公益	市からの受託	
確定事業費(千円)		110,599		
事業説明	内容	指定管理者の代表団体として、相模原ギオンスタジアム等を管理運営をし、市内のスポーツの拠点として、市民等に広く活動の機会・場を提供する。		
	成果	<p>指定管理3年目となる令和6年度は、競技場の来場者数が前年比113.6%を記録し、施設全体の賑わい創出に大きく貢献した。また、新たな自主事業として、相模原市にゆかりのあるアーティストによる市内初の野外音楽フェスティバルを開催し、2日間延べ40,000人が来場するなど、大きな盛り上がりを見せた。</p> <p>このほかにも、陸上教室やサッカー教室、シニア向けの健康体操教室など、多様なプログラムを実施するとともに、市内小学校の連合運動会やホームタウンチームの試合など、さまざまなイベントに施設を貸し出し、スポーツの機会・場の提供を積極的に行った。</p>		
	課題	引き続き、さらなる「豊かなスポーツライフの実現」及び「スポーツを生かした地域の賑わいの創出」を達成するため、常に多様化する市民ニーズを的確に把握し、それに応じた柔軟かつ創造的な取り組みを推進する必要がある。		

事業名称		2024ツアー・オブ・ジャパン相模原ステージ実行委員会事業	
区分		公益	市からの受託
確定事業費(千円)		46,085	
事業説明	内容	国内最大規模かつ唯一の都道府県をまたぐステージレース「ツアー・オブ・ジャパン」全8ステージの第7ステージとして、相模原ステージの開催（実行委員会との協働実施）及び運営ボランティア「TEAM SAGAMIHARA」の募集、事業の実施に合わせたサイクルイベント事業の開催。	
	成果	東京2020オリンピックのレガシーとして、2021年から開始している本ステージは、前回大会に引き続き、2回目となる海外チームを招聘したフルスペックでの大会開催を実現できた。参加16チーム、観客動員数23,000人、コース運営ボランティア356名、大会期間のホームページアクセス数4.3万人。神奈川県内唯一の国際自転車ロードレースを継続して開催することで、オリンピックによる盛り上がりを一過性のものとすることなく、自転車競技の普及促進やサイクルツーリズムの推進による中山間地域振興に寄与することができた。また、相模原市の市制施行70周年を記念した大会名称で開催する取組を行うことで、沿道地域のみならず、市内外へ事業を周知することができた。	
	課題	本事業は、大規模な交通規制を伴うことから、地域住民や沿道事業者等に対して周知、説明を行い、引き続き理解と協力を求めていく必要がある。また、コース沿道にとどまらず、市内外での認知度向上や観戦会場への観客のアクセス性の改善を図るなどして、さらなる集客の拡大を目指す必要がある。	

<団体運営に対する考え方>

外郭団体としての必要性、役割	
<p>市民の体育・スポーツ活動を振興し、もって市民の健全な発達、明るく豊かな市民生活の形成及び活力ある社会の実現に寄与することを目的とした、行政のスポーツ分野を補完する唯一の団体であり、担う役割は多岐にわたり、その重要性は大きい。</p> <p>公益法人として社会的な役割、公益性と健全な財政運営を追求しつつ、組織の透明性、信頼性の確立に努め、経営の効率化や安定化を図りながら、国の第3期スポーツ基本計画や相模原市スポーツ推進計画を踏まえ、豊かなスポーツライフとスポーツを生かした地域のにぎわいの創出を目指す。</p>	
公益的使命の達成について	
○現状と将来のあるべき姿	
<p>多様な主体との様々な事業展開のほか、36種目の加盟団体の統括と171団のスポーツ少年団の本部として、市民の体育・スポーツの振興に寄与している。</p> <p>今後もスポーツが有する多様な価値を最大限に生かすとともに、スポーツが社会活性化等に寄与する意義をさらに高め、スポーツを通じて地域のにぎわいの創出を図っていく。また、中学の運動部活動の地域移行については、市の動向を踏まえ環境整備等の役割を果たしていく。</p>	
○今後の取組	
団体	引き続き、多様な主体との連携による事業の推進や、誰もが気軽に参加できるスポーツ機会の創出をするとともに、中学の運動部活動の地域移行について環境整備等の役割を果たしていく。
所管課	部活動地域移行に向けた取組においては、関連団体との連携による様々な可能性を検討し、更なる市民スポーツの振興への寄与を期待する。
事業の再整理・重点化について	
○現状と将来のあるべき姿	
<p>ホームタウンチームや他の外郭団体等と連携した地域のにぎわい事業の展開、加盟団体と連携したスポーツ機会の創出やパラスポーツ機会の普及・啓発を推進していく。</p>	
○今後の取組	
団体	事業評価を通じて成果や課題を継続的に検証し、事業の見直しや重点化を進める。また、企業等から協賛金を得られる魅力的な事業の実施や指定管理施設における収益事業の開催などにより、自主財源の確保に努めるとともに、限られた資源を最大限に活かし、効率的かつ効果的な事業の推進を図る。
所管課	引き続き様々な団体との連携強化による多彩な事業の展開、また社会環境や市民のニーズに沿った柔軟な事業の展開を期待する。

組織について	
○現状と将来のあるべき姿	
36種目の加盟団体を統括する団体として、組織力の向上に努めており、外部理事の登用や税理士を監事として配置するなど、ガバナンスの強化を図っている。引き続き、公平性、透明性のある組織体制の強化に取り組むとともに、人材育成基本方針に基づき、効果的な人材育成を推進していく。	
○今後の取組	
団体	組織の公平性と透明性を高めるため、専門家と顧問契約を締結し、ガバナンス体制を強化する。また、各種マニュアルやコンプライアンス基本方針等の徹底を図るとともに、目標管理制度を活用した人材育成、職員研修の充実など職場環境の整備を推進する。
所管課	財団としてのガバナンスをより強化する取組を進めるとともに、社会情勢の変化や例外的な事態に対して柔軟な対応のできる人材の育成を期待する。
財政状況の改善について	
○現状と将来のあるべき姿	
協賛企業の協力を得た事業実施により経費を削減した他、指定管理施設では新たに市内初の野外音楽イベントの開催等により自主財源の確保に努めた。 引き続き、公共性・公益性が高い事業を実施するため、公益目的事業を補完する収益事業を拡充し、効率的・効果的な事業推進等を推進しながら、財政状況の改善を図っていく。	
○今後の取組	
団体	各事業において、実施方法やコスト削減策を検証し、効率的かつ効果的な運営を推進するとともに、賛助会費や協賛金の募集、指定管理施設における収益事業の開催などにより、自主財源の確保に努める。
所管課	引き続き、事務改善や業務効率化によるコスト削減を図るとともに、賛助会費や協賛企業の獲得等の収入などにより自主財源の確保を図られたい。

<今後の方向性>

経営上の課題	団体	市民の体育・スポーツを振興していくためには、多様化する市民ニーズを的確に捉える必要がある。また、36種目の加盟団体の統括及びスポーツ少年団本部機能を担う団体として、引き続き関係団体との連携を強化し、市全体のスポーツ力の向上に取り組む必要がある。さらに、スポーツSDGsやパラスポーツの普及啓発など新たな分野での事業展開が求められている。
	所管課	加盟団体の統括において効率的な連絡体制等を整え、他団体も含めた連携によるさらなる市民スポーツの振興に繋がる事業展開に取り組む必要があると考える。
今後の取組	団体	今後も加盟団体や多様な主体と連携を図りながら、市民ニーズに即した、誰もが気軽に参加できるスポーツ機会の創出事業などをさらに展開し、スポーツの魅力を生かした地域のにぎわいの創出に努めていく。
	所管課	社会環境の変化や多様化する市民のニーズに沿った柔軟な事業の展開により、スポーツを生かした地域の賑わい創出を期待する。

外郭団体改革推進計画の進行管理シート

団体名	公益財団法人相模原市スポーツ協会
-----	------------------

改革の方向性	外郭団体としての意義や使命を検証した上で、役割や機能を再整理し、より明確にする
	業務の再編等を進め、他の外郭団体との連携の推進及び統合を含めた効率的・効果的な事業推進体制を検討する
	更なる事業展開に取り組む
	<p>◎ 団体の専門性や機動力等の強化を図るため、他の外郭団体と連携した事業の実施や人事交流等を進めるとともに、統合を含めた効率的・効果的な事業推進体制を検討する。</p> <p>◎ 市が進める「スポーツの推進とスポーツを通じた活力あふれるまちづくりの実現」に向け、各種スポーツ大会・スポーツ教室の開催やスポーツ環境の充実を図り、市民の誰もが気軽に親しめる「場づくり」を推進する。</p> <p>◎ 多様な主体と連携し、スポーツを生かした地域のにぎわいづくりを推進するため、公益社団法人相模原市観光協会などとのスポーツツーリズムの展開や、社会福祉法人相模原市社会福祉事業団などとのパラスポーツに関する事業展開について検討する。</p> <p>◎ 中学の運動部活動の地域移行について中学校等と指導者（種目協会等）とのコーディネート機能を発揮できるよう、市の動向を踏まえ環境整備に努める。</p>

取組項目	役割や機能の再整理			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標	・役割や機能の再整理			
取組内容（市）	・スポーツの推進とスポーツを通じた活力あふれるまちづくりの実現に向け、団体が担うべき役割や機能の再整理			
取組内容（団体）	・スポーツの推進とスポーツを通じた活力あふれるまちづくりの実現に向けた役割や機能の再整理			
実績（市）	団体の役割や機能の再整理に取り組んだ。			
取組内容実績（市）	再整理のため意見交換等を実施した。			
実績（団体）	・市が掲げる「相模原市スポーツ推進計画」を推進するための補完的役割を担うスポーツに特化した団体として、役割や機能の再整理を検討した。			
取組内容実績（団体）	・35種目の加盟団体、171団のスポーツ少年団や賛同する企業等と連携して事業を実施し、当協会が保有するネットワークやスキル、公益性、柔軟性、迅速性を生かした運営をした。			

取組項目	スポーツの普及啓発、競技力の向上及び健康・体力づくりの推進を目的とした事業を実施し、競技スポーツ・生涯スポーツ人口の拡大を図る。 (令和4年度 58.9%)			
目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	スポーツを定期的に行う市民の割合目標値 62%	同 目標値 63%	同 目標値 64%	同 目標値 65%
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが気軽に参加できるスポーツ機会の創出 競技力向上に向けた加盟団体とトップアスリートへの支援 インターネットによる情報発信など、経営計画に基づいた事業の実施、検証 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが気軽に参加できるスポーツ機会の創出 競技力向上に向けた加盟団体とトップアスリートへの支援 インターネットによる情報発信など、経営計画に基づいた事業の実施、検証 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが気軽に参加できるスポーツ機会の創出 競技力向上に向けた加盟団体とトップアスリートへの支援 インターネットによる情報発信など、経営計画に基づいた事業の実施、検証 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが気軽に参加できるスポーツ機会の創出 競技力向上に向けた加盟団体とトップアスリートへの支援 インターネットによる情報発信など、経営計画に基づいた事業の実施、検証
実績	<ul style="list-style-type: none"> 各種自主事業のほか、加盟団体との共催事業や指定管理施設での各種事業を開催し、誰もが気軽に参加できるスポーツ機会を提供した。 			
取組内容実績	<ul style="list-style-type: none"> アリオ橋本との共催により”スポーツ×パラスポーツ×SDGs”事業を実施した。指定管理施設では、60事業を実施し、20,000人超の参加があった。 			

取組項目	多様な主体との連携による事業の推進 (地域のにぎわいづくりやスポーツツーリズムの事業、パラスポーツに関する事業の展開など)			
目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	・多様な主体との連携による事業の推進	・多様な主体との連携による事業の推進	・多様な主体との連携による事業の推進	・多様な主体との連携による事業の推進
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームタウンチーム等との連携による地域のにぎわいづくり事業の検討 ・社会福祉法人相模原市社会福祉事業団等と連携したパラスポーツの推進に向けた事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームタウンチーム等との連携による地域のにぎわいづくり事業の展開 ・公益社団法人相模原市観光協会等と連携したスポーツツーリズムの事業に向けた調査・研究 ・社会福祉法人相模原市社会福祉事業団等と連携したパラスポーツの推進に向けた事業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人、高校・大学、企業・団体、ホームタウンチーム等との連携による地域のにぎわいづくり事業の検討 ・公益社団法人相模原市観光協会等と連携したスポーツツーリズムの事業に向けた効果的な事業の検討 ・社会福祉法人相模原市社会福祉事業団等と連携したパラスポーツの推進に向けた事業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人、高校・大学、企業・団体、ホームタウンチーム等との連携による地域のにぎわいづくり事業の展開 ・公益社団法人相模原市観光協会等と連携したスポーツツーリズムの事業に向けた効果的な事業の展開 ・社会福祉法人相模原市社会福祉事業団等と連携したパラスポーツの推進に向けた事業の展開
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体との連携により、地域のにぎわいづくり事業を実施した。 ・社会福祉法人相模原市社会福祉事業団と連携したパラスポーツの事業を展開した。 			
取組内容実績	<ul style="list-style-type: none"> ・麻溝包括支援センターや包括連携協定を締結した大塚製薬(株)と連携して、新たな事業を展開した。 ・社会福祉法人相模原市社会福祉事業団と連携して市内PR事業を実施した。 			

取組項目	中学の運動部活動の地域移行に向けた取組			
目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	・中学の運動部活動の地域移行に向けた取組	・中学の運動部活動の地域移行に向けた取組	・中学の運動部活動の地域移行に向けた取組	・中学の運動部活動の地域移行に向けた取組
取組内容	・部活動の地域移行に関わる審議会への参画 ・加盟団体等とのヒアリングの実施	・部活動の地域移行に関わる審議会への参画 ・加盟団体等とのヒアリングの実施 ・指導者の育成・指導の検討	・地域のスポーツ団体等や学校と連携した取組の実施 ・指導者の育成・指導	・地域のスポーツ団体等や学校と連携した取組の実施 ・指導者の育成・指導
実績	・市部活動地域移行審議会に参画した。 ・県部活動地域移行連絡会に出席した。 ・政令指定都市スポーツ協会連絡協議会で情報交換を行った。			
取組内容実績	・市部活動地域移行審議会に委員として参画し、現場の実情や地域特有の課題について把握に努めた。 ・県部活動地域移行連絡会に出席し、情報収集に努めた。			

取組項目	他の外郭団体と連携した事業の実施や人事交流等の連携の推進及び統合を含めた効率的・効果的な事業推進体制の検討			
目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	効率的・効果的な事業推進体制の検討	効率的・効果的な事業推進体制の検討	効率的・効果的な事業推進体制の検討	効率的・効果的な事業推進体制の決定
取組内容	・他の外郭団体と連携した事業や人事交流等の連携方策の検討	・他の外郭団体と連携した事業や人事交流等の連携方策の協議、調整 ・他の外郭団体との統合を含めた効率的・効果的な事業推進体制の検討	・他の外郭団体と連携した事業の実施や人事交流等の連携の推進 ・他の外郭団体との統合を含めた効率的・効果的な事業推進体制の検討	・他の外郭団体と連携した事業の実施や人事交流等の連携の推進 ・他の外郭団体との統合を含めた効率的・効果的な事業推進体制の方針決定
実績	・市まち・みどり公社、市観光協会、市社会福祉事業団と連携した事業を実施した。			
取組内容実績	・さがみはら元旦マラソンでは、大風センターとのコラボ企画を実施し、地域のにぎわいづくりに貢献した。 ・わくわくスポーツフェアにおいて、市観光協会がブースを出展し、地域の魅力発信や観光PRを行った。 ・市社会福祉事業団と連携して、市内PR事業などを実施した。			

取組項目	安定した経営基盤の構築			
目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		・安定した経営基盤の構築	・安定した経営基盤の構築	・安定した経営基盤の構築
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・経営的視点からの事業評価の実施など効率的かつ効果的な事業推進 ・賛助会費、協賛金、広告手数料等の収入や指定管理者制度導入施設での集客力向上等による自主財源の確保 ・会計や給与システムの導入、再構築などのICT化の取組による業務の省力化や事務の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営的視点からの事業評価の実施など効率的・効果的な事業推進 ・賛助会費、協賛金、広告手数料等の収入や指定管理者制度導入施設での集客力向上等による自主財源の確保 ・会計や給与システムの導入・再構築などのICT化の取組による業務の省力化や事務の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営的視点からの事業評価の実施など効率的・効果的な事業推進 ・賛助会費、協賛金、広告手数料等の収入や指定管理者制度導入施設での集客力向上等による自主財源の確保 ・会計や給与システムの導入・再構築などのICT化の取組による業務の省力化や事務の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営的視点からの事業評価の実施など効率的・効果的な事業推進 ・賛助会費、協賛金、広告手数料等の収入や指定管理者制度導入施設での集客力向上等による自主財源の確保 ・会計や給与システムの導入・再構築などのICT化の取組による業務の省力化や事務の効率化
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価を実施し、効率的かつ効果的な事業推進に努めた。 ・自主財源を確保するため指定管理施設で収益事業を拡充した。 ・事業において協賛金の募集を行った。 			
取組内容実績	<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価を実施し、次年度以降の効率的な実施に向け、方向性の明確化と具体的な改善策の策定を図った。 ・指定管理施設では市内初の野外音楽フェスを開催し、自主財源を確保した。 ・高校生3×3バスケットボール大会は、市内企業からの協賛金を活用して事業を拡充した。 			

取組項目	組織の活性化と人材育成の強化			
目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	職員資質の向上	職員資質の向上	職員資質の向上	職員資質の向上
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員会の見直しの検討 ・ 目標管理制度を活用した人材育成と組織の活性化 ・ 専門性と機動力を生かした新たな事業展開に向けた研修派遣や人事交流の検討、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員会の見直しの検討、協議 ・ 目標管理制度を活用した人材育成と組織の活性化 ・ 専門性と機動力を生かした新たな事業展開に向けた研修派遣や人事交流の検討、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員会の見直しの実施 ・ 目標管理制度を活用した人材育成と組織の活性化 ・ 専門性と機動力を生かした新たな事業展開に向けた研修派遣や人事交流の検討、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標管理制度を活用した人材育成と組織の活性化 ・ 専門性と機動力を生かした新たな事業展開に向けた研修派遣や人事交流の検討、実施
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員会の今後の在り方を検討した。 ・ 目標管理制度による職員評価を実施した。 			
取組内容実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員会の役割を事務局内で検証し、新たな組織体制に向けた検討を行った。 ・ 目標管理制度を人材育成の基盤として導入、運用することで、職員の成長が促進され、組織全体の意欲向上や業務効率の改善にもつながった。 			

外郭団体の財政状況調書（公益法人版）

団体名	公益財団法人相模原市スポーツ協会
-----	------------------

単位：千円

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
経常収益		218,846	247,087	283,641	303,201	333,011	
経常費用		208,827	248,988	283,783	291,895	322,148	
	公益目的事業費	193,484	236,332	271,339	281,930	308,858	
	収益事業費	2,694	3,039	3,593	755	2,884	
	管理費	12,648	9,616	8,851	9,210	10,405	
当期経常増減額		10,020	-1,900	-142	11,306	10,863	
収益合計		218,846	247,087	283,641	303,201	333,011	
費用合計		208,827	248,988	283,783	291,895	322,148	
	人件費	129,740	125,638	117,436	115,030	127,597	
当期一般正味財産期首残高		130,744	139,871	137,971	137,810	147,427	
当期一般正味財産期末残高		139,871	137,971	137,810	147,427	155,195	
当期一般正味財産増減		9,127	-1,900	-161	9,617	7,768	
当期指定正味財産増減		0	-56	0	-36	-73	
貸借対照表	資産	流動資産	111,659	107,795	110,951	126,881	130,323
		固定資産	272,080	277,898	281,388	282,817	269,654
		資産合計	383,738	385,694	392,339	409,697	399,977
	負債	流動負債	60,278	60,595	63,770	69,345	64,541
		固定負債	66,531	70,127	73,757	75,961	63,349
		負債合計	126,809	130,722	137,527	145,306	127,889
	正味財産	基本金	112,020	112,020	112,020	112,020	112,020
		当期正味財産増加額	9,127	-1,957	-161	9,580	7,768
		正味財産合計	256,929	254,972	254,811	264,392	272,087
	負債・正味財産合計	383,738	385,694	392,339	409,697	399,977	
市の援助・市費受入状況	補助金	81,005	71,806	59,472	50,018	57,430	
	事業費	4,712	5,874	8,530	8,745	8,841	
	管理費	53,764	54,028	49,667	41,273	48,589	
	<small>指定管理費等継続化支援事業</small>	22,529	11,904	1,276	0	4,660	
	交付金	0	0	0	0	0	
	負担金	0	0	0	0	0	
委託料（指定管理料含む）	89,603	90,487	108,970	118,011	117,882		
安全性	自己資本比率	67.0%	66.1%	64.9%	64.5%	68.0%	
	流動比率	185.2%	177.9%	174.0%	183.0%	201.9%	
	固定比率	105.9%	109.0%	110.4%	107.0%	99.1%	
	固定長期適合率	84.1%	85.5%	85.6%	83.1%	80.4%	
	経常比率	104.8%	99.2%	99.9%	103.9%	103.4%	
効率性	管理費率	5.8%	3.9%	3.1%	3.0%	3.1%	
	人件費率	59.3%	50.8%	41.4%	37.9%	38.3%	
自立性	市への財政依存度	78.0%	65.7%	59.4%	55.4%	52.6%	
収益性	総資本経常利益率	7.2%	-1.4%	-0.1%	7.7%	7.0%	
	その他						
その他	公益目的事業比率	92.7%	94.9%	95.6%	96.6%	95.9%	
	収益事業比率	1.3%	1.2%	1.3%	0.3%	0.9%	